

平成30年度

坂出市防災女性チーム 活動報告書



内 容

1. 今年度の目標
2. 活動体制
3. 活動内容
4. 成果・課題等
5. 来年度の目標

1. 今年度の目標

これまでの4年間の活動で培った知識や経験を活用し、「災害に強いまちづくり」が行えるよう、防災力が高い職員を増やすことを目的として、昨年度作成した「避難所運営マニュアル」の活用など、職員研修の充実を目標としました。

- ・避難所運営マニュアルの普及啓発
- ・職員、市民への啓発活動（さかいで131カードの普及）

2. 活動体制

◇ 第5期生 メンバー構成 ⇒ 5名交代

NO.	担当	所属	氏名	備考
1	リーダー	健康福祉部ふくし課	松岡 麻美	
2	サブリーダー	監査委員事務局	宮本 晶子	新規
3	〃	市民生活部人権課川津文化センター	西川 牧子	
4	メンバー	建設経済部建設課	中井 麻矢	
5	〃	市民生活部こども課	柴田咲由子	新規
6	〃	総務部職員課危機監理室	庄野 真紀	事務局
7	〃	建設経済部産業課にぎわい室	加藤 由梨	新規
8	〃	市立病院医事課	田岡 実紗	
9	〃	教育委員会文化振興課	松田 有矢	
10	〃	建設経済部都市整備課	猪熊 理恵	新規
11	〃	教育委員会生涯学習課	長野 麻衣	新規

3. 活動内容

【平成30年度活動内容】

活 動	日 程	内 容	備 考
任命式 第1回会議	H30. 4. 27	・リーダー、サブリーダー選出 ・活動方針や年次計画の決定	サブリーダーを 2名に増員
新規メンバー研修	H30. 5. 16	・新規メンバー研修	リーダー・サブリー ダー・新規メンバー
新規メンバー研修	H30. 5. 23	・香川県防災センター体験	新規メンバー
第2回会議	H30. 5. 28	・今年度の活動内容について	
第3回会議	H30. 6. 13	・自主防リーダー研修会について ・避難所運営マニュアル概要版について	
防災講演 (内浜西自治会)	H30. 6. 13	・内浜西自治会ふれあいサロン	担当：宮本・中井・ 庄野 参加者 32 名
ブース展示 (東部地区社協防災福祉部)	H30. 6. 17	・東部地区防災フェスタ 避難所運営マニュアル等の展示	担当：庄野
新規メンバー研修	H30. 6. 29	・避難所運営ゲームHUG	新規メンバー
第4回会議	H30. 7. 11	・避難所担当職員研修について ・新人職員研修について	
防災研修 (自主防リーダー)	H30. 7. 16	・坂出市自主防災組織リーダー研修会 避難所運営マニュアル説明，HUG研修	参加者 75 名
懇談会	H30. 7. 18	・平成30年度地域教育行政懇談会 地域と学校が連携した防災対策について等	担当：庄野
防災講演 (ほがらかキャンプ)	H30. 7. 25	・ほがらかキャンプ 「災害に備えて」	担当：西川・柴田・ 庄野・田岡 参加者 23 名
職員防災研修 (女性職員)	H30. 8. 7	・女性職員研修「女性職員がみた被災地」 講師：木村敦子氏，山下芳子氏	参加者 35 名（うち おとめ隊9名）
第5回会議	H30. 8. 10	・避難所担当職員研修について	
第6回会議	H30. 8. 20	・避難所担当職員研修について	
防災講演 (金花保育園)	H30. 8. 28	・きんか子育てふれあい教室 「子ども連れの防災」	担当：柴田 参加者 18 名
職員防災研修 (避難所担当職員)	H30. 8. 29	・避難所担当職員研修 坂出市避難所運営マニュアルについて	参加者 23 名
第7回会議	H30. 9. 14	・新規採用職員研修について	
第8回会議	H30. 9. 21	・新規採用職員研修について	
職員防災研修 (新規採用職員)	H30. 9. 28	・新規採用職員研修 「市役所職員の備え」	参加者 18 名
防災講演 (市PTA青少年育成部会)	H30. 10. 11	・市PTA青少年育成部会研修会 講演，紙食器づくり，防災食試食	担当：西川・柴田・ 庄野・加藤 参加者 29 名

第 9 回会議	H30. 10. 24	・ 防災フェスタについて	
防災講演 (京町マンション自主防災会)	H30. 10. 28	・ 京町マンション防災訓練 「災害に備えて」	担当：庄野・長野 参加者 31 名
防災講演 (金花保育園)	H30. 12. 13	・ きんか子育てふれあい教室 「子ども連れの防災」	担当：柴田 参加者 6 名
防災講演 (白峰中学校母親部会)	H30. 12. 13	・ 白峰中学校母親部会研修会 講演，紙食器づくり，防災食試食	担当：西川・庄野・ 松田・猪熊 参加者 15 名
第 10 回会議	H30. 12. 26	・ 防災フェスタについて	
第 11 回会議	H31. 1. 22	・ 防災フェスタについて	
第 5 回 SAKAIDE 防災フェスタ	H31. 1. 31	・ 「おとめ隊と女子会しませんか？」 講演，防災食クッキングなど	参加者 40 名
講演聴講	H31. 2. 4	・ 平成 30 年度坂出市議会議員研修会	
防災訓練 (東部地区社協防災福祉部)	H31. 2. 15	・ 東部地区社協防災福祉部防災訓練 避難所運営訓練（視察）	担当：宮本・庄野・ 長野
第 12 回会議	H31. 2. 22	・ 平成 30 年度反省 ・ 次年度の課題検討	
市長報告	H31. 3. 20	・ 平成 30 年度活動報告	
防災講演（予定） (中央地区婦人会)	H31. 3. 28	・ 中央地区婦人会班長会 「災害に備えて」	担当：松岡・西川・ 庄野 参加者 50 名

「女性職員が見た被災地」女性職員研修（H30. 8. 7）

東日本大震災の際，被災地に派遣された職員の方から当時の体験談を聞くことにより，具体的な災害対応業務や女性として困ったことなど，女性職員として被災地に派遣された場合の災害対応業務をイメージしていただき，実際の災害対応業務にあたる際の心構えを学ぶことを目的として実施しました。

○講師

- ・ 木村 敦子氏 （元健康福祉部長）
H23. 4. 27～H23. 5. 2 宮城県三陸町へ派遣
- ・ 山下 芳子氏 （元消防本部庶務課長）
H23. 7. 18～H23. 7. 26 宮城県仙台市へ派遣



○対象

市女性職員希望者

研修後のアンケートの一例

- ・ 新聞やニュースでは聞けない話が聞け，災害時の様子をイメージすることができた。
- ・ 職員としての心構えを学べた。
- ・ 災害時に行動できるように日頃の準備が大切であると感じた。
- ・ いろんなつながりが大事とのことなので，交流する機会がほしい。

避難所担当職員研修（H30. 8. 29）

昨年度完成した避難所運営マニュアルに基づき、大規模災害時の避難所について、避難所担当職員に周知することを目的として実施しました。

○対象

避難所担当課職員

○内容

坂出市避難所運営マニュアルを基本とした避難所運営における基本的な流れや注意点



研修後のアンケートの一例

- ・避難所の運営について、基本的なことがわかった。
- ・マニュアルは、注意点もまとめられてわかりやすかった。
- ・職員としての具体的な役割や動きを詳しく知りたい。
- ・避難所の運営についてイメージすることはできたが、1時間では内容が多すぎる。

「市役所職員の備え」 新規採用職員研修（H30. 9. 28）

28年度から継続し、新規採用職員を対象に、職員としての災害時における対応や、職場における備えについて伝えることで、災害時の対応力の底上げを図ることを目的とし研修を実施しました。

○対象

平成30年度新規採用職員（市立病院（庶務・医事課除く）・消防除く）

○内容

- ・南海トラフ地震について（坂出市の被害想定）
- ・坂出市における過去の台風および集中豪雨の対応
- ・身近な備え（机の中の備え紹介）
- ・職場の備え（ロッカーの中の備え紹介）
- ・職員用防災カード（参集基準の確認）



研修後のアンケートの一例

- ・自分に災害が起こるとは意識していなかったのでいい意識付けの機会となった。
- ・自分ではなかなか気づけない備蓄について、具体的にものを見せながら説明してもらえたのがよかった。
- ・知らないことがたくさんあったので入庁してすぐに実施してほしい、もっと早く知りたかった。
- ・グループワークの時間があってもよかった。

第5回「SAKAIDE 防災フェスタ～おとめ隊と女子会しませんか?～」

5回目となる防災フェスタを今年度も1月31日「おとめ隊の日」に開催しました。今回は初めて女性限定とし、防災について学ぶだけでなく、日頃から不安に思っていることなどを気軽に話せるように少人数のグループで話す機会を設けました。

- ・日時：平成31年1月31日（木） 午前10時～正午
- ・場所：中央公民館（第4音楽室、調理室）
- ・内容：講演、紙食器づくり、水漬けパスタ作りなど



○講演「ふむふむタイム」



○紙食器づくり



○水漬けパスタ作り



○もぐもぐタイム



○アロマ体験



ぼうさい
131 おとめ隊と楽しく学ぶ
SAKAIDE 防災フェスタ
～おとめ隊と女子会しませんか?～

おとめ隊とはひばり市役所の
女性職員有志による防災チームです

同 市危機管理室 ☎44・5023

日時 1月31日(木) 10:00～12:00 (9:30～受付)
場所 中央公民館音楽室4(イオン坂出店3階)
対象 防災に興味のある**女性**
定員 先着40人(要申込) 参加費 無料
申込先 ☎44・5023 (市危機管理室)

防災のお話
坂出で災害が起こったらどうなるの!?
身近で役立つ情報をお伝えします♪

防災クッキング
災害時にも簡単にできる
水漬けパスタ
を作ります♪

もぐもぐタイム
試食しながら不安に思っていることなどをおとめ隊と一緒にしゃべりましょう♪

アロマ体験も
あります♪

防災フェスタ後のアンケートの一例

- ・知らないことがたくさんあり、コミュニケーションをとりながら楽しく学ぶことができた。
- ・話だけでなく、調理やアロマなど体験でき、実感することができた。
- ・自分でできることを考え、日常の中で続けていくことが大事だと思った。
- ・日頃から、地域で話し合い、皆で考えることが必要だと感じた。

1月31日「おとめ隊の日」に市民向けの防災フェスタとは別に、職員向けにインフォメーションにて啓発を行いました。

昨年度は「職員用１３１カード」の周知でしたが、今年度は「備えのチェックリスト」を作成し、職員として必要な備えができているか確認してもらい、また備えができていない人には今後備えてもらえるよう啓発しました。



○「備えのチェックリスト」

身近な備え = CHECK LIST =

あなたの備え度は... 0 %

「いつかする」と後回しにしてはいませんか？ いま始めましょう！

STEP 1 机の中に備えよう！



生活用品

- ☐ 眼鏡（普段コンタクトの人）
コンタクトを遠くに置くことは難しいので、眼鏡の备用がベストです！ 高価なものでも、安い眼鏡と布などに包むのを捨てずに置いておきましょう。
- ☐ 常備薬
鎮痛剤など小分けにして、1回の量や1日の回数をメモしておけば、服用時に誤りません。
- ☐ マスク
感染症予防、口臭対策に、ノーメイクも通じてくれる強い味方です。
- ☐ 口腔ケア用品
- ☐ ウェットシート
災害で使えるものや、自分の好きな香りのものなど、用途に合わせてチェックしましょう。
- ☐ タオル/手ぬぐい
複数の応急処置に役立ちます。
- ☐ レジャーシート／風呂敷
自分のスペース確保や避難に。
- ☐ 着替え（下着など）
- ☐ 生理用品
緊急時にも、生理用品は必要です。下着の替えが少なくても清潔に過ごすことができます。
- ☐ 化粧品（最小量で）
食料や水が不足する場合は、化粧品の使用は避けましょう。
- ☐ 防犯ブザー
身を守るための必需品。懐中電灯だけでなく、避難中に役に立ちましたとき、助けを呼ぶのに役立ちます。
- ☐ 電灯
- ☐ モバイルバッテリー
- ☐ 携帯ラジオ
- ☐ 現金（硬貨も）
- ☐ 筆記用具
- ☐ クリックして入力

自分の身は自分で守ろう

災害時は治安が悪くなる恐れが高く、過去の震災でも女性や子どもが被害を受ける事例が多発しています。自分の身を守るために必ず備えて欲しいもののひとつです。

食料 飲料

- ☐ 食料
お腹に入りの食料を食べたら少し元気が出るはず。被災したショックで食事が無い場合でもおやつでしのぐ。お菓子やジュースもあると嬉しい！
- ☐ 飲料
様々なことに活用できる水はほちろん、飲み慣れたお茶やジュースもあると嬉しい！

「ローリングストック法」を活用しよう

食料、飲料には賞味期限があります。いざというときに「期限が切れて食べられない！」なんてことにならないように、定期的な消費し、消費するごとに新しいものを追加するサイクルを作りましょう。

チェックの数で
備え度がわかるよう
になっています♪

身近な備え = CHECK LIST =

あなたの備え度は... 0 %

「いつかする」と後回しにしてはいませんか？ いま始めましょう！

STEP 2 作業用品を備えよう！



個人で使用できるロッカーが無い人も、運動用の車に備えるなど工夫しましょう

連絡方法を備えよう！

避難時に被災すれば、親戚のみならず自宅にも連絡し、最優先の災害対応に協力することになります。家族の安否を確認するため、緊急時の連絡方法を決めておきましょう。131カードに添えて、避難から持ち歩くことをおすすめします！

自宅にも備えよう！

STEP1の「机に備えるもの」に加えて準備しましょう

- ☐ 貴重品
現金、宝石類などのコピー
- ☐ カセットコンロ、ガスボンベ
電気がガスが止まっても調理が可能です。
- ☐ 非常用トイレ
災害時はトイレが壊れている恐れがあるため、トイレの使用は厳禁です。必要十分な備えがありますので、いざという時のために、覚えておきましょう。

このチェックリストはあくまで参考です。高齢者や同居していたり、乳幼児がいたり、ご家族の状況によって必要なものは変わってきます。自分の家族には何が必要か、一度考えてみましょう。

「災害に備えて」 各種団体における講演

今年度も各種団体よりおとめ隊への講演依頼や会議等の参加依頼がありました。131（ぼうさい）カードを利用して、大地震時の行動についてや備えておきたい備蓄についてなど各団体の要望に合わせて講演を行いました。また、地区の防災訓練にも参加しました。

○内浜西自治会ふれあいサロン(H30. 6. 13)



○ほがらかキャンプ(H30. 7. 25)



○京町マンション防災訓練(H30. 10. 28)



○その他

東部地区防災訓練(H30. 6. 17・H31. 2. 15), 平成30年度地域教育行政懇談会(H30. 7. 18), きんか子育てふれあい教室(H30. 8. 28・H30. 12. 13)

○坂出市自主防災組織リーダー研修会 (H30. 7. 16)



○市PTA青少年育成部会研修会

(H30. 10. 11)



○白峰中学校母親部会研修会(H30. 12. 13)



○HP・Facebookでの広報

おとめ隊の活動報告を発信しました。



○ラジオ出演

FM-SUN Weekday みつくすプラス (H31. 1. 9)

防災ひとくちメモ「131おとめ隊と楽しく学ぶ
SAKAIDE 防災フェスタ」出演者：加藤・猪熊



4. 成果・課題等

今年度の成果としては、職員研修に重点を置き取り組み、平成28年度より毎年実施している新規採用職員研修に加え、女性職員研修、避難所担当職員研修を行い、職員研修の充実を図れたことです。女性職員研修では、被災地に派遣された職員の実体験を聞くことができ、女性職員の災害対応に対する意識を高めることができました。

また、昨年度完成した「避難所運営マニュアル」を活用し、避難所担当職員研修で大規模災害時の避難所についての周知を行い、7月の自主防災組織のリーダー研修において避難所運営について研修を行うことができました。

課題としては、職員に避難所運営について周知することはできましたが「職員として具体的にすることが分からない」という意見もあったため、避難所担当職員研修の内容を見直しする必要があります。また、地域住民による避難所の自主運営に向けて、今後は、地域住民と市職員の合同研修も視野に入れる必要があると考えます。

5. 来年度の目標

来年度も職員研修に重点を置き、職員一人一人の防災意識の向上を図りたいと思います。職員啓発については、研修を受けて終わりではなく、結果が見えるような研修方法を検討し、継続して実施していきます。

今後も、「日常生活に防災を取り入れる」ことを念頭に、職員や市民に対して啓発活動を継続して行っていきます。

- ・避難所運営マニュアルの普及啓発
- ・職員、市民への啓発活動（さかいで131カードの普及）